

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カサ・ルピータ八本松		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 23名
○従業員評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方との意思疎通や情報伝達が良くできている。	連絡帳でのやり取りだけでなく、送迎時等で保護者への情報伝達や意思疎通を図っている。	送迎時や連絡帳でのやり取りだけでなく、SNSも充実させて情報発信を行うことで、より事業所での活動内容などが分かりやすく伝わりやすいように取り組んでいく。
2	利用児童が安心して楽しく通所できている。	職員が一人一人が否定的な言葉は使わず、肯定的な言葉を使って話すことで安心して過ごせる環境を意識的に作っている。	職員一人一人のスキルを更に高めるために、より専門性の高い職員研修等を行っていく。
3	職員間の意見交換がしやすい風通しの良い職場環境が出来ている。	週1回ミーティングの中で、それぞれの気になっていることや気づいたことなど、些細な事でも意見を出し合い、相手の意見を否定するのではなく、まずは取り組んでから改善していくようにしている。	現時点で実現できていない案を実現していき、各職員からより多くの意見が出るように取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備等においてバリアフリー化ができていない。	建物の構造上段差があり、バリアフリー化することが難しい。	クッションマットを敷く等して段差が少しでも減るように工夫している。
2	保護者同士の交流の機会やきょうだい等が参加できるイベントの開催ができておらず、きょうだいへの支援がされていない。	イベントの開催をする場所の確保ができておらず、保護者、きょうだい等の大人数が参加できるイベントが開催できていない。	必要と思われる駐車場やスペースの確保を行い、保護者やきょうだい等がどのような形で参加ができるかなど具体的な内容の計画を立てていく。
3	系列事業所との交流はあるが、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があまりない。	事業所単位で体育館や屋内施設等の予約をして活動を行っているため、他の事業所や放課後児童クラブや児童館、地域の他の子どもと活動や交流する機会が少なくなっている。	公共の施設での活動を取り入れ、自事業所だけでなく、様々な子どもとの関わりが持てる機会を設けていく。